

## [レスリング] 全日本大学

### 120kg級 荒木田が優勝

12月21、22の両日、世田谷区の駒沢体育館でレスリングの内閣総理大臣杯全日本大学選手権(フリースタイル)が行われ、120kg級の荒木田進謙(経済1・光星学院高)が見事優勝を果たした。同大会の1年次生王者は15人目で、8月の全日本学生選手権との二冠を達成した1年次生は5人目の快挙だ。

相手を寄せつけけない圧倒的な強さで勝ち上がり、決勝では先制されたが第3ピリオド、素早い攻めからフォールを奪い逆転勝利。「出場者は各階級に各大学から一人ずつのため実力者ばかりで不安はあった。優勝出来たが、内容はまだまだ」と振り返り、「全日本選手権で田中章仁先輩(FEG=平16経済)に勝てるようパワー一面を鍛え、歴代の王者に負けないくらいの成績を残したい」と話す。荒木田の今後の活躍が楽しみだ。



▲緊迫の決勝戦(右が荒木田)

また、55kg級の稲葉泰弘(経営3・霞ヶ浦高)、74kg級の細越孝紀(経済2・光星学院高)、84kg級の矢野将章(経済2・広陵高)がそれぞれ3位入賞。66kg級の後藤賢一(経営4・秋田商高)も5位となり、大学別対抗では3位となった。

## 東日本学生秋季新人戦

### 荒木田が最優秀選手賞

東日本学生秋季新人戦(12月7～9日、駒沢体育館)は、荒木田がフリー、グレコローマン両スタイルの120kg級で優勝し、グレコローマンで最優秀選手賞を受賞した。「優勝しなければというプレッシャーはあった。結果を残せてほっとしている」と語った。

その他の入賞者は次の通り。

#### 【フリースタイル】

- ▽60kg級・大場真治(経済2・島原高)=2位
- ▽66kg級・渡邊友哉(文1・飛龍高)=3位、佐々木渉(法1・秋田商高)=3位
- ▽84kg級・矢野=3位▽96kg級・廣瀬忠祐(商2・島原高)=3位
- ▽120kg級・平川臣一(商1・三井高)=3位

#### 【グレコローマンスタイル】

- ▽60kg級・神山秀人(経営1・広陵高)=2位
- ▽66kg級・細越=2位▽74kg級・上迫博仁(経営1・沼津城北高)=3位
- ▽84kg級・小林敏雄(経営2・上田西高)=2位
- ▽96kg級・中谷月明(文1・添上高)=3位
- ▽120kg級・平川=2位

(文・写真とも 有馬利香・商2)

## [テニス] 関東大学対抗

### 女子が2年連続 8回目の優勝

関東大学対抗テニス選手権が10月29日から12月17日まで、亜大ほかで行われ、専大女子が2年連続8回目の優勝に輝いた。

亜大、早大などの強豪校との試合が連続したが難なく乗り切り、決勝では青学大に4―1で勝利を収めた。

ディフェンディングチャンピオンとして臨んだ今大会は4年次生が抜けた新チームの初戦でもあり、プレッシャーは並大抵のものではなかった。「昨年のように全試合完勝というわけにはいかなかったが、目標どおり優勝することが出来てよかった」と安堵(あんど)の表情を見せた金子沙織新主将(文3・新潟青陵高)。「1試合ごとにチームの士気が高まり、一人ひとりが練習の成果を発揮することで、さらに成長することが出来た。10月の王座決定戦では3位と悔しい思いをしたので、新チームで結果を出すためにも、もっと練習に励みます」と話した。

(加藤 未希・文2)

## [スキー] 糠平温泉GS大会

### 安田が優勝 クロスカントリーは北林、大森、下平健闘

#### 【アルペン】

12月16、17の両日、北海道河東郡上士幌町で、道東シリーズ糠平(ぬかびら)温泉GS(ジャイアントスラローム)大会が行われ、安田かずみ(経営3・歌志内高)が初日に優勝を飾った。また安田は、つべつカップ回転競技大会(12月9、10日、北海道網走郡津別町)では初日4位、2日目2位となった

安田は「シーズン序盤なので、楽しく滑ることを意識していた。糠平では1本目から好タイムを残せ、びっくりした。2本目は緊張せず、勝ちを意識することなく滑ることが出来た」と話し、今後に向けて「結果にこだわらず滑りたい」と述べた。

阿寒スラローム大会(12月19～21日、北海道釧路市阿寒町)では、4位に安田、9位に木田江里乃(経営1・北海学園札幌高)が入賞した。

#### 【クロスカントリー】

12月14日から17日まで北海道紋別郡白滝村で白滝クロスカントリー大会が行われた。女子5キロクラシカルで北林亜砂子(文3・米内沢高)が6位。スプリントでは予選を通過し、順調に勝ち進んだ大森菜保子(経済2・花輪高)が3位入賞、下平恵理華(商2・飯山南高)が5位となった。

スキーシーズンは始まったばかり。スキー部の今後の活躍から目が離せない。

(荻野 敦子・文2)

## [バドミントン] 関東学生新人会 女子団体準優勝

関東学生バドミントン新人選手権が11月7日から12月6日まで、日体大和泉体育館ほかで行われ、女子団体Aチームが準優勝を果たした。

高橋沙織(経営2・埼玉栄高)、水間可奈(商2・聖ウルスラ学院高)、井上まり(文2・越谷南高)、井上春奈(商1・埼玉栄高)のAチームは、日女体大に2—0、続く東京経大Aにも2—0と、順調に勝ち進む。しかし、決勝の日体大戦は1—2で接戦を落とした。成瀬誠監督は「本来なら優勝してもおかしくないメンバーだったが、インカレ後、集中力が途切れてしまった」と話した。

(松原 弘和・法1)

## [相撲] 全日本 水野出場も予選敗退

全日本相撲選手権が12月10日、両国国技館で行われた。専大からは水野裕士(経営3・愛工大名電高)が出場したが、決勝トーナメント進出はならなかった。

予選1回戦を素首落とし、同2回戦を上手投げ、同3回戦を寄り切りで落とし、3連敗を喫した水野は「まだまだ壁がある。最終学年となる07年は、一つでも多く勝ち、またこの大会に出たい」と語った。

水野は11月22日から27日まで、スペインのサラマンカ市で行われた「第31回ジャパンウイーク2006年スペイン・サラマンカ」に日本武道代表団の一員として参加した。相撲の演武披露や指導・稽古(けいこ)も行い、両国の親善に一役買った。

(松本 かおり・文1)

## [卓球] 全日本学生選抜 トン舟がベスト8

全日本学生選抜卓球選手権が12月2、3の両日、宮城県の仙台市青葉体育館で行われ、女子シングルスでトン舟(商4・中越高)がベスト8入りした。予選リーグでは、3連覇を狙う孫博(大正大)に勝つなど、3連勝で1位通過したが、決勝トーナメントは初戦で伊藤みどり(筑波大)に4—3で競り勝つも、準々決勝で劉一行(日大)に1—4で敗れた。

(松原 弘和・法1)

## [アイスホッケー] 関東大学 8位で1部残留

12月9日、西東京市のダイドードリンコアイスアリーナで関東大学アイスホッケーリーグ戦の最終戦が行われた。相手は専大と勝ち点7で並ぶ日体大。この試合で勝った方が1部残留、負ければ2部2位との入れ替え戦出場という瀬戸際だったが、第2ピリオドで塚本正太(経営3・苫小牧工高)、手塚祐介(商4・日光高)が決めた得点を守りきり、3—1で勝利。8位でリーグ戦を終了し、1部残留を決めた。

(文・写真とも 松本 かおり・文1)

## [スピードスケート] 結果

ウインタースポーツ本番を迎え、スピードスケート部が多くの大会で結果を残している。インカレではさらなる活躍を見せてもらいたい。

(加藤 未希・文2)

▼浅間選抜競技会(12月1~3日、長野県松本市浅間温泉国際スケートセンター)

【1500メートル】今野陽太(経営2・白樺学園高)=12位、小野泰幸(経営1・白樺学園高)=18位

【3000メートル】及川一也=8位

【5000メートル】道下雅史(経営2・白樺学園高)=5位、小野=15位

【1万メートル】道下=12位

## [フェンシング] 結果

12月22日から25日まで北秋田市合川体育館で全日本フェンシング選手権が行われ、男子サーブル団体でベスト8、同フルーレでベスト16に終わった。個人では男子エペでの田中育一(法4・富山西高)のベスト16が最高の成績だった。

(田口 能成・経済2)

### [ローラースケート] 結果

東日本学生ローラースケート新人戦(12月2～17日、筑波ローラースケートスタジアム)で男子が3位、女子が4位となり、大久保和哉(文2・橋本高)が敢闘賞を受賞した。

## 弓道部創部40周年祝う

弓道部の創部40周年記念祝賀会が11月19日、生田キャンパスで、吉田治弘部長(法学部教授)をはじめ、鳳弓会(OB・OG会)会員や現役部員ら約60人が出席して開かれた。会に先立ち、弓道場で師範の松永重功氏の古希を祝う古希祝射会が催された。

